

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52304	保育内容(人間関係) Contents of Child Care and Education (Human Relations)	岡田真智子 高沢佳司	専門	1	必修	2年後期

科目の概要

保育園での養護および幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された当該領域のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。

特に保育内容の領域「人間関係」について、子どもの社会性の発達過程について、心理的な側面と教育的な側面から理解する。人間は、人や自然との関わりの中で生きている。特に人間関係の中で、社会性を養い、人間社会の生き方を学んでいく。保育所・幼稚園でも、そうした力の基礎を育てていく必要がある。そこで、この授業では、子どもの社会性の発達についての基本的知識を理解し、保育者がクラスづくりや集団遊びを進め、子どもの人間関係をつくる力を育てる上で、必要な知識や実践的方法について身に付ける。これらの取り組みを通して、幼児教育および保育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を修得し、それぞれの現場で協調性を持って柔軟に活用する能力を身につける。

学修内容	到達目標
①乳幼児の遊びの発達と、それに伴う大人との関係、子ども同士の関係について理解を深める。 ②保育現場の実践例を基に幼児の仲間づくりについて学ぶ。 ③幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領にみられる人間関係について学ぶ。 ④乳幼児の発達と人間関係の広がりについて学ぶ。	(1)各領域のねらい及び内容 一般目標:幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。 到達目標・・・1)幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。2)当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。3)幼稚園教育における評価の考え方を理解している。4)領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。 (2)保育内容の指導方法と保育の構想 一般目標:幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付けている。 到達目標・・・1)幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。2)各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。3)指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。4)模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。5)各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性 働きかけ力 実行力	学びの中で、新に生じた疑問に対し、能動的に学修を進めることができる。 学修内容が十分に理解できるように積極的に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力 計画力 創造力	学修した内容についての問題点を認識できる。 学修した内容をどのように応用し役立てていくかを創造できる。
チームで働く力	発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力	自分の意見を具体的にわかりやすく相手に伝えることができる。 私語をせず、人の話を聞き、メモをとることができる。 周囲の状況に配慮した適切な意見交換ができる。 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など授業に支障をきたす行動をせずに、集団のルールを守ることができる。

テキスト及び参考文献

テキスト:特に使用しない。資料を随時配布する。

参考文献:授業の中で紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:保育原理Ⅰ・Ⅱ、発達心理学、教育心理学、教育原理など

資格との関連:教職、保育士、幼稚園免許

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・実際の保育現場を想像しながら授業に取り組んでほしい。 ・気がついたことは、何でもノートや資料にメモすること。 ・授業以外の時間でも子どもに接し、観察する機会を持ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。 ・授業態度が悪く、他の学生の迷惑になる学生は退席してもらう。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	90	① ✓ ② ✓	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の前半と後半でそれぞれ課題を出し、「授業で学習した内容の理解度」「授業で学習した内容を応用できるか」「自身の見解を論理的な文章で論じることができる」について評価する。 ・課題は「乳幼児の発達と人間関係の発展」「実践記録から、人間関係の発達をきちんと読みとる」「乳幼児の社会性の発達の理解」「人間関係からみた遊びと発達と幼児期の発達支援」「乳幼児の仲間づくりと保育者とのかかわり」など。
成果発表 (口頭・実技)			
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓	(主体性)課題や疑問に対し、能動的に学修を進めることができる。 (実行力)与えられた課題に積極的に取り組むことができる。 (課題発見力)学修した内容の問題点を認識できる。 (創造力)学修した内容を応用できるように創造できる。 (発信力)自分の意見を具体的にわかりやすく相手に伝えることができる。 (傾聴力)私語をせず人の話を聞き、メモをとることができる。 (規律性)他人に迷惑をかけずに、集団のルールを守ることができる。
その他		① ②	<ul style="list-style-type: none"> ・6回以上の欠席は不認定とする。
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の発達と人間関係の発展が、実践例も参考にしながらしっかり理解できる。 ・保育としての「人間関係」の概要を理解できる。 ・遊びと人との関わりについて理解できる。 ・授業で学んだことを応用し、保育の実践現場で活かす事例を具体的に表現できる。 以上の4つの評価方法において満遍なく十分な力を発揮できれば A。4つの評価方法においてほぼ、あるいは完璧に力を発揮できれば S。	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の発達と人間関係の広がりが見える。 ・保育としての「人間関係」の概要を理解できる。 ・遊びと人との関わりについて理解する。 以上の 3 つの評価方法において十分ではないが力を発揮できれば B。2 つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは 1 つの評価方法において十分な力を発揮できれば C。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	授業のねらいと内容について理解する。保育内容人間関係の概要について学ぶ。	講義 (岡田、高沢)	授業のねらいが理解できる。保育内容人間関係の概要について理解できる。	(復習) 保育内容人間関係の概要について復習する。	180	実行力 創造力 傾聴力
2週 /	乳幼児の社会性の発達について学ぶ。幼児期の社会的隔離と野生児研究について学ぶ。	講義・演習 (高沢) 前回の課題のフィードバックおよび解説	乳幼児の社会性の発達について理解できる。幼児期の社会的環境の重要性が理解できる。	(復習) 乳幼児の社会性の発達と幼児期の社会的環境について復習する。	180	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
3週 /	人間関係からみた遊びと発達と幼児期の発達支援について学ぶ。	講義・演習 (高沢) 前回の課題のフィードバックおよび解説	人間関係からみた遊びと発達と幼児期の発達支援が理解できる。	(復習) 幼児の遊びと発達と幼児期の発達支援について復習する。	180	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
4週 /	非言語サインとコミュニケーションについて学ぶ。	講義・演習 (高沢) 前回の課題のフィードバックおよび解説	非言語サインの意味が理解できる。非言語コミュニケーションのやり取りができる。	(復習) 非言語コミュニケーションの内容を復習する。	180	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
5週 /	遊びと人の関わりからみた幼児の社会性の発達について学ぶ。社会的生活習慣について学ぶ。	講義・演習 (高沢) 前回の課題のフィードバックおよび解説	遊びと人の関わりからみた幼児の社会性の発達を理解できる。幼児の社会的生活習慣の重要性が理解できる。	(復習) 幼児の社会性の発達と社会的生活習慣について復習する。	180	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
6週 /	乳幼児の仲間づくりと保育者とのかかわりについて学ぶ。	講義・演習 (高沢) 前回の課題のフィードバックおよび解説	乳幼児の仲間づくりと保育者とのかかわりについて理解できる。	(復習) 乳幼児の仲間づくりと保育者とのかかわりについて復習する。	180	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
7週 /	内発的動機づけと外発的動機づけについて学ぶ。子どもが成長発達をしていくための課題設定や支援の方法を学ぶ。	講義・演習 (高沢) 前回の課題のフィードバックおよび解説	内発的動機づけと外発的動機づけについて理解できる。子どもが成長発達をしていくような課題設定や支援の方法が理解できる。	(復習) 動機づけについて復習する。	180	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
8週 /	保育者と子ども、子ども同士の関わりについて学ぶ。前半の授業内容を総括しまとめる。	講義・演習 (高沢) 前回の課題のフィードバックおよび解説	保育者と子ども、子ども同士の関わりについて理解できる。前半の授業内容を総括しまとめられる。	(復習) 前半の授業内容をまとめる。	180	実行力 課題発見力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9週 / 10週	『幼稚園教育要領解説』 『保育所保育指針解説書』 にみる「人間関係」について学ぶ。	講義 (岡田) 前回の課題のフィードバックおよび解説	「人間関係」に関する記述を比較しながら理解できる。	(予習)「人間関係」にかかわる部分を、読んでおく。	180	主体性 課題発見力 発信力 状況把握力
10週 / 11週	「幼保連繋型認定こども園教育保育要領」に記されている「人間関係」について学ぶ。	講義・演習 (岡田) 前回の課題のフィードバックおよび解説	領域「人間関係」への理解を深める。	(復習)幼稚園、保育所、認定こども園の「人間関係に関わる規定を復習する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 状況把握力
11週 / 12週	乳幼児の発達と、それに伴うおとなとの関係、子どもどうしの関係の広がり、遊びの発展について学ぶ。	講義 (岡田) 前回の課題のフィードバックおよび解説	遊びの発達と人間関係の広がりについて理解できる。	(復習)配布された資料をみ直し、発達と人間関係の広がりについて整理する。	180	主体性 課題発見力 発信力 状況把握力
12週 / 13週	実践例を基にしながら、保育所における3歳未満児の人間関係について理解する。	講義・演習 (岡田) 前回の課題のフィードバックおよび解説	3歳未満児の人間関係について理解できる。	(復習)資料を再度読み、ポイントをまとめておく。	180	主体性 課題発見力 発信力 状況把握力
13週 / 14週	実践例を基にしながら、保育所における3歳以上児の仲間づくりについて考える。	講義・演習 (岡田) 前回の課題のフィードバックおよび解説	3歳以上児の人間関係の発展、仲間づくりについて理解できる。	(復習)資料を再度読み、ポイントをまとめておく。	180	主体性 課題発見力 発信力 状況把握力
14週 / 15週	幼稚園における人間関係に焦点を当てた教育課程と、それに基づく実践例を読みながら、人間関係の発達に関する理解を深める。	講義・演習 (岡田) 前回の課題のフィードバックおよび解説	教育課程と、それに基づく実践例から、人間関係の発達を理解できる。	(復習)資料を基に、学んだことをまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 状況把握力
15週 / 16週	幼稚園の実践例の検討を通して、後半のまとめをする。	講義・演習 (岡田) 前回の課題のフィードバックおよび解説	幼・保に於ける子どもの人間関係の発達と保育者の関わりへの理解を深める。	(復習)後半のまとめとレポートを書く。	180	主体性 課題発見力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力